

# 古事記を読む会 25号 (2016,12,4)

11月の古事記を読む会は、近藤さんの提案であった。日頃から思っておられることについて、疑問点を含めて述べられた。まず、アマテラスについて、もともとは男性神だったのが後世になって女神にされているのではないかという説を、根拠をあげて紹介する。また、皇祖神としてのアマテラスでは、やはり後世になって最高神になったのではないか。『延喜式』の祝詞にはアマテラスの名が殆ど出てこないという。えっ！そうなの？近藤さんの提案を聞いて、確かめたいこと、調べたいことが多く出てきた。

提案によると、アマテラスのいつ頃から女神になったのか？敏達帝の大宮の地、他田には、他田坐天照御魂臣神社があり、日祀部の遺制だと思われるが、祭神はアマテラスではなく、火明命であった。6世紀後半の宮廷では、まだアマテラスの崇拝はなかったようである。そして、天皇による伊勢行幸は持統天皇が初見であり、持統天皇が仕掛けたのか？と展開する。アマテラス大神について種々の考えがあることに気づかされた。また、古事記を作成した背景を知る意味で、持統天皇の周囲のこと、藤原不比人のこと等を見直したいと思った。

p 401 解説をみると、『古事記』『日本書紀』の成立について、藤原京遷都、大宝律令施行・・・等の歴史状況の中でみる必要があるとし、中国の律令制度をもととして、古代国家の完成段階に両書が成される。それは、律令国家として作り上げようとする自分たちの世界を根拠づけ、確証しようとするものである。その上で、天武・持統天皇の時代に為されたことは、限りなく大きな意義があったと思う。

討論では、テラス・・・テル：光がでる姿。テラス：地域を統治すること。TR系の言葉のタラシ、タラスがある。テラは、おもしろい コトバ だ。テル ものが、テラ。テラス=テラテラ させる(再動詞化)。アマテラスの テラは、もともと 仏教寺院の テラ と おなじ コトバ だったと 考えられる。(イズミ氏)

古事記のことは古事記で解決する。(日本書紀と比べない) 竹田氏の戒め。(服部氏)

大嘗宮の発掘遺跡の柱跡が写真で紹介され、今上天皇の大嘗祭が行われた建物も今は取りこわされて無い。興味深く、刺激を受けた提案であった。

## 今後の予定

12月4日(日) 本日午後5時半集合し、食事会をします。

ヤマタノオロチに飲ませた「八塩折之酒」で倒れないように！

場所： つむぎ乃 富山市内幸町 8-1 076-444-3910

会費： 4,000円 (大観園向い側)

## 平成 29 年

2月5日の提案 (針山康雄さんの提案 古事記に表れる建物に関する事)

3月5日の提案 (五十嵐頭房さん提案 倭族と日本文化)